

『警察協会雑誌』発行表（第十次補訂稿）

（令和 4（2022）年 8 月 14 日（日）現在）

〔目 次〕

（追記）最近の『警察協会雑誌』研究動向について……………1	
（補正経緯）……………3	
1 はじめに……………4	
2 『警察協会雑誌』発行表……………5	
【補遺 1】国立国会図書館未所蔵第 521～第 529 号原本の補充状況……………16	
【補遺 2】『警察協会雑誌』第 521 号は幻か—同号探索覚書—……………16	
【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）……………18	
【関連事項】……………20	

（追記）（平成 26（2014）年 9 月 6 日追加）

最近の『警察協会雑誌』研究動向について

『警察協会雑誌』研究に関しては、昨平成 25（2013）年秋以降様々な進展を見た。本来であれば、本文に組み込むべきところ、今はその余裕なきため、追記として冒頭に簡単に記載しておくにとどめる（ただし、一部は本文中にても言及した。）。

・平成 26（2014）年 1 月 21 日（火）より「図書館向けデジタル化資料送信サービス」（図書館送信）が開始され、この結果『警察協会雑誌』のデジタル化資料（第 1 号～第 520 号（戦前刊行最終号）も、最寄りの公共図書館等（国立国会図書館の承認を受けた図書館に限る。）で利用できるようになった。）⇒更に、令和 4（2022）年 5 月 19 日（木）より、国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）開始。（令和 4（2022）年 8 月 14 日追加）〈http://www.ndl.go.jp/jp/library/service_digi/〉

・武藤誠氏（1922～2013.11.7）は夙に『警察協会雑誌』総目次の作成を企図され、その実現に努められたが、御逝去後の平成 25（2012）年 12 月に下記の著作が公刊された。武藤氏の尽瘁方につき同書収載の警察政策学会警察史研究部会長加藤晶氏序文参照。

・警察政策学会警察史研究部会・公益財団法人警察協会編『警察協会雑誌目次集＝警察政策百年の論述＝』（警察政策学会資料・別刷、警察政策学会・公益財団法人警察協会、平成 25 年 12 月刊）。なお、別に公益財団法人警察協会 HP 〈<http://www.keisatukyokai.or.jp/>〉に HP 用「目次集」がアップされている。⇒

〈<http://www.keisatukyokai.or.jp/index.php?id=145>〉

・本『警察協会雑誌目次集＝警察政策あり。百年の論述＝』を踏まえた研究として、現時点では例えば次の二件がある。

・廣瀬権氏「『警察協会雑誌の謎』解明に向けた一步」『警察学論集』第67巻第8号（平成26年8月10日刊）97～114頁（『警察協会雑誌の二つの謎』（第521号は存在したのか否か、何故昭和23年6月の第529号「新警察法施行記念特集号」をもって突然終了したのか）を解く旅」（平成26年3月20日初稿）を成稿、公表したもの。）

・警察政策学会管理運用研究部会（松尾庄一氏執筆）『警察協会雑誌にみる警察の歴史』（警察政策学会資料第77号、平成26（2014）年1月〈ママ〉刊。同年5月「まえがき」あり。（実際は平成26年6月発行か。）

(補正経緯)

- ・平成 19 (2007) 年 1 月 1 日初稿作成
- (HP 初載)・平成 19 (2007) 年 12 月 15 日第一次補訂稿作成
(【補遺 1】を追加の上、HP 初載)
- ・平成 19 (2007) 年 12 月 23 日第二次補訂稿作成
(【補遺 2】を追加の上、微修正)
- ・平成 20 (2008) 年 2 月 9 日第三次補訂稿作成
(警眼社、同社社長田山宗堯の件等を修正、追加、誤植訂正等)
- ・平成 24 (2012) 年 2 月 1 日 (水) 第四次補訂稿作成
(註記を補充。その他追加、誤植訂正等)
- ・平成 24 (2012) 年 2 月 10 日 (金) 第五次補訂稿作成
(註記を補充。その他追加、誤植訂正等)
- ・平成 24 (2012) 年 2 月 17 日 (金) 第六次補訂稿作成
(「国立国会図書館のデジタル化資料」による『警察協会雑誌』目次検索の件等追加。その他追加、誤植訂正等)
- ・平成 26 (2014) 年 6 月 11 日 (水) 第七次補訂稿作成
(平成 25 (2013) 年 12 月に警察政策学会警察史研究部会・公益財団法人警察協会編『警察協会雑誌目次集＝警察政策百年の論述＝』(警察政策学会資料・別刷、警察政策学会・公益財団法人警察協会、平成 25 年 12 月刊) が刊行されしこと、更に公益財団法人警察協会 HP に HP 用「目次集」がアップされたこと、〈<http://www.keisatukyokai.or.jp/>〉平成 26 (2014) 年 1 月 21 日 (火) より「図書館向けデジタル化資料送信サービス」(図書館送信) が開始され、この結果『警察協会雑誌』のデジタル化資料 (第 1 号～第 520 号) も最寄りの公共図書館等 (国立国会図書館の承認を受けた図書館に限る。) で利用可能となりしこと等を追加。
その他追加、誤植訂正等)
- ・平成 26 (2014) 年 6 月 22 日 (日) 第八次補訂稿作成
(一部補正、追加)
- ・平成 26 (2014) 年 9 月 6 日 (土) 第九次補訂稿作成
(冒頭に「(追記) 最近の『警察協会雑誌』研究動向について」を追加するとともに、廣瀬権「『警察協会雑誌の謎』解明に向けた一歩」『警察学論集』第 67 巻第 8 号 (平成 26 年 8 月 10 日刊) 97～114 頁の公表に伴い、一部補正、追加)
- ・令和 4 (2022) 年 8 月 14 日 (日) 第十次補訂稿作成
(レイアウトを全面変更し、一部補正追加した。)

1 はじめに¹

周知のように、『警察協会雑誌』²は、(財)警察協会³により明治 33 (1900) 年 6 月から昭和 23 (1948) 年 6 月にかけて全部で 529 号が刊行された戦前期の有力な警察雑誌である。その大部分は、『東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫所蔵雑誌目次総覧』第 125 巻、第 126 巻 (各警察編) (大空社、平成 9 (1997) 年 5 月 26 日刊) に、東京大学大学院法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター⁴所蔵本の目次写真が収められており、その内容を容易に把握できる。ただ、同センター未所蔵の 56 冊分⁵については、もとより収録されておらず、早急にその補遺を作成することが要望されている⁶。

¹ 本資料は、平成 19 (2007) 年 1 月 1 日作成初稿を逐次補正しつつあるもの (補正日時明示) であることから、最新の現状にはそぐわない記載になっている箇所が多々存することをお断りしておく。(平成 24 年 2 月 17 日追加)

² 平成 26 (2014) 年 1 月 21 日 (火) より「図書館向けデジタル化資料送信サービス」(図書館送信) が開始され、この結果『警察協会雑誌』のデジタル化資料 (第 1 号～第 520 号) も最寄りの公共図書館等 (国立国会図書館の承認を受けた図書館に限る。) で利用できるようになった。

http://www.ndl.go.jp/jp/library/service_digi/ (平成 26 年 6 月 11 日追加)

⇒更に、令和 4 (2022) 年 5 月 19 日 (木) より、国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス (個人送信) 開始。(令和 4 (2022) 年 8 月 14 日追加) http://www.ndl.go.jp/jp/library/service_digi/

³ 現在の公益財団法人警察協会につき、<http://www.keisatukyokai.or.jp/> 参照。なお、近年同 HP 中に「警察協会雑誌」及び「警察協会戦前出版図書」のコーナーが新設された。(平成 24 年 2 月 1 日一部補正)

⁴ 東京大学大学院法学政治学研究科附属近代日本法政史料センターについては下記 HP 参照。

<http://www.meiji.j.u-tokyo.ac.jp/>

⁵ [『警察協会雑誌』東京大学大学院法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター所蔵本欠号一覧] (計 56 冊)

8,155,203,204,219,284,298,299,309,310,311,313,314,325,327,330,332,333,334,335,337,350,352,353,354,355,356,358,390,405,408,410,413,414,415,420,426,441,448,449,451,454,460,474,484,503,514,515,516,517,519,521,523,526,527,529

ただし、当該『目次総覧』所収第 522 号表紙中の「目次」欄には「第 522・523 合併号」とあるが、実物は第 522 号単独号であって、『目次総覧』作成時に何故か誤って「第 522・523 合併号」との書入れがなされた由である。このため、第 522 号も不備と考えると、その場合は、『目次総覧』での欠号は全部で 57 冊となる。なお、同所蔵中第 416 号、第 435 号については、第 416 号は目次なし、第 435 号は目次後半部分が欠であって、このため、『目次総覧』では、いずれも、活字を新規に組直しの上で掲載している。

⁶ 近時関係筋で「『警察協会雑誌』総目次」のデジタル資料化作業が進行されつつあるやを仄聞する。早き御完成を鶴首するものである。なお、昨年来国立国会図書館「電子図書館」中「国立国会図書館のデジタル化資料」で『警察協会雑誌』第 1 号～第 520 号分の目次が検索できるようになっている (上記(財)警察協会 HP <http://www.keisatukyokai.or.jp/>) 中「警察協会雑誌」「公開の趣旨」参照。「国会図書館のデジタル化資料」⇒「館内限定公開資料を含める」をクリック ⇒「警察協会雑誌」を入力して検索 <http://dl.ndl.go.jp/#classic> ⇒同誌の「目次・階層」を逐次クリック ⇒左側表示の各号数をクリック ⇒各号目次表示)。(平成 24 年 2 月 17 日追加)

本稿は、そのための前作業の一として、同誌の全発行状況を取りまとめたものである。併せて、戦前期の我が警察史検討のよすがともなれば幸いである⁷。

2 『警察協会雑誌』 発行表

(凡 例)

- ① 創刊第1号: 明治33(1903)年6月～最終第529号: 昭和23(1948)年6月
- ② ★は発行年、▲は注意事項を示す。
- ③ (財)警察協会、『警察協会雑誌』関係記事は、(参考)として、年毎に記載した。
- ④ 国立国会図書館所蔵本〈<http://www.ndl.go.jp/>〉検索については、昭和8(1933)年、同10(1935)年～15(1940)年分が年間2巻製本であることを除き、年間1巻に製本済である。なお、年間各2巻製本(号数分配)の状況は当該年の記載個所を参照。ただし、最近は閲覧方式変更で原本自体は見られなくなっていると聞く。

(「ただし」以下、平成24年2月10日追加)

- ⑤ 『東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫所蔵雑誌目次総覧』第125巻、第126巻(各警察編)(大空社、平成9(1997)年5月26日刊。以下「東大法・附属近代日本法政史料センター所蔵本」ともいう。)に、東京大学大学院法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター所蔵『警察協会雑誌』の目次写真が収められ、同第126巻巻末に、当該号分の「雑誌別発行年月日一覧」及び「雑誌別著者名索引」が付載されている。
- ⑥ 『警察協会雑誌』の前身である『不眠不休警察眼』の発行者で、『警察協会雑誌』の印刷元であった警眼社⁸社長の田山宗堯(1859～1917)⁹については、高橋雄豺(1889～1979)『明治警察史研究』第1巻(令文社、昭和35年3月1日刊)239、240頁参照。この他、同氏については、東京書籍商組合編『東京書籍商伝記集覧 日本書誌学大系 2』(青裳堂書店、昭和53年4月30日刊)136、137頁、三木理史(1965～)『世界を見せた明治の写真帖』(ナカニシヤ出版、平成19年9月15日刊)が貴重な文献である。なお、田山宗堯の後を次いで警眼社社長になった湯沢陸雄については、高橋雄豺「大正末期の協会雑誌」

その後、上記につき、平成25(2013)年12月に至り、警察政策学会警察史研究部会・公益財団法人警察協会編『警察協会雑誌目次集＝警察政策百年の論述＝』(警察政策学会資料・別刷、警察政策学会・公益財団法人警察協会、平成25年12月刊)が刊行された。また、別に公益財団法人警察協会HP〈<http://www.keisatukyoukai.or.jp/>〉にHP用「目次集」がアップされた⇒〈<http://www.keisatukyoukai.or.jp/index.php?id=145>〉。(平成26年6月11日追加)

⁷ 戦前期の警察関係雑誌につき、本HP別稿「『警察雑誌検討一斑―戦前期警察史の一齣―」〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatvoshi/keisatsuzasshi.pdf>〉参照。(平成26年6月11日追加)

⁸ 昭和17(1942)年11月、企業整備令により、加除式専門出版社14社が統合、日本加除出版株式会社として新発足したと聞く。(平成20年2月9日追加)

⁹ 田山宗堯については、本HP別稿「警眼社社主田山宗堯とは誰ぞ―『警察協会雑誌』との関連をめぐって― 明治警察史の一齣―」(平成20(2008)年9月30日初稿作成、逐次補正)参照。

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatvoshi/tayama.pdf>〉(平成24年2月1日追加)

『警察協会雑誌』第500号（昭和17年1月1日発行）23頁を取りあえず参照。（平成20年2月9日一部修正、追加）

⑦ 後藤狂夫（1868～1932）¹⁰「警察雑誌の今昔」『警察思潮』第1巻第6号（昭和3年刊）参照。

★明治33（1900）年（第1号～第7号）

（▲明治33年6月22日第三種郵便物認可。第1号：同年6月30日発行、第2号以降毎月13日発行、～明治36（1903）年12月。表紙と「目次」は別。）

第1号（6月30日発行） 第2号（7月13日発行） 第3号（8月13日発行） 第4号（9月13日発行） 第5号（10月13日発行） 第6号（11月13日発行） 第7号（12月13日発行）

（参考）

・第1号（6月30日発行）に「西郷従道・祝辞、大浦兼武・発刊ノ辞、安楽兼道・警察協会雑誌発刊ニ就テ」あり。

★明治34（1901）年（第8号～第19号）

第8号（1月13日発行） 第9号（2月13日発行） 第10号（3月13日発行） 第11号（4月13日発行） 第12号（5月13日発行） 第13号（6月13日発行） 第14号（7月13日発行） 第15号（8月13日発行） 第16号（9月13日発行） 第17号（10月13日発行） 第18号（11月13日発行） 第19号（12月13日発行）

★明治35（1902）年（第20号～第31号）

第20号（1月13日発行） 第21号（2月13日発行） 第22号（3月13日発行） 第23号（4月13日発行） 第24号（5月13日発行） 第25号（6月13日発行） 第26号（7月13日発行） 第27号（8月13日発行） 第28号（9月13日発行） 第29号（10月13日発行） 第30号（11月13日発行） 第31号（12月13日発行）

★明治36（1903）年（第32号～第43号）（▲東大法・附属近代日本法政史料センター所蔵本「発行年月日一覧」では、第33号より15日発行??）

第32号（1月13日発行） 第33号（2月13日発行） 第34号（3月13日発行） 第35号（4月13日発行） 第36号（5月13日発行） 第37号（6月13日発行） 第38号（7月13日発行） 第39号（8月13日発行） 第40号（9月13日発行） 第41号（10月13日発行） 第42号（11月13日発行） 第43号（12月13日発行）

★明治37（1904）年（第44号～第55号）（▲第44号より毎月15日発行に変更、～第220号）

第44号（1月15日発行） 第45号（2月15日発行） 第46号（3月15日発行） 第47号（4月15日発行） 第48号（5月15日発行） 第49号（6月15日発行） 第50号（7月15日発行） 第51号（8月15日発行） 第52号（9月15日発行） 第53号

¹⁰ 後藤狂夫については、本HP別稿「頑鉄後藤狂夫とは誰ぞ—『警察協会雑誌』検討の一として—」（平成21（2009）年3月21日初稿作成、逐次補正中）参照。

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatvoshi/gantetsu.pdf>〉

(10月15日発行) 第54号(11月15日発行) 第55号(12月15日発行)

★明治38(1905)年(第56号~第67号)

第56号(1月15日発行) 第57号(2月15日発行) 第58号(3月15日発行) 第59号(4月15日発行) 第60号(5月15日発行) 第61号(6月15日発行) 第62号(7月15日発行) 第63号(8月15日発行) 第64号(9月15日発行) 第65号(10月15日発行) 第66号(11月15日発行) 第67号(12月15日発行)

★明治39(1906)年(第68号~第79号)

第68号(1月15日発行) 第69号(2月15日発行) 第70号(3月15日発行) 第71号(4月15日発行) 第72号(5月15日発行) 第73号(6月15日発行) 第74号(7月15日発行) 第75号(8月15日発行) 第76号(9月15日発行) 第77号(10月15日発行) 第78号(11月15日発行) 第79号(12月15日発行)

★明治40(1907)年(第80号~第91号)

第80号(1月15日発行) 第81号(2月15日発行) 第82号(3月15日発行) 第83号(4月15日発行) 第84号(5月15日発行) 第85号(6月15日発行) 第86号(7月15日発行) 第87号(8月15日発行) 第88号(9月15日発行) 第89号(10月15日発行) 第90号(11月15日発行) 第91号(12月15日発行)

★明治41(1908)年(第92号~第103号)

第92号(1月15日発行) 第93号(2月15日発行) 第94号(3月15日発行) 第95号(4月15日発行) 第96号(5月15日発行) 第97号(6月15日発行) 第98号(7月15日発行) 第99号(8月15日発行) 第100号(9月15日発行) 第101号(10月15日発行) 第102号(11月15日発行) 第103号(12月15日発行)

★明治42(1909)年(第104号~第115号)

第104号(1月15日発行) 第105号(2月15日発行) 第106号(3月15日発行)
第107号(4月15日発行) 第108号(5月15日発行) 第109号(6月15日発行)
第110号(7月15日発行) 第111号(8月15日発行) 第112号(9月15日発行)
第113号(10月15日発行) 第114号(11月15日発行) 第115号(12月15日発行)

★明治43(1910)年(第116号~第127号)

第116号(1月15日発行) 第117号(2月15日発行) 第118号(3月15日発行)
第119号(4月15日発行) 第120号(5月15日発行) 第121号(6月15日発行)
第122号(7月15日発行) 第123号(8月15日発行) 第124号(9月15日発行)
第125号(10月15日発行) 第126号(11月15日発行) 第127号(12月15日発行)

★明治44(1911)年(第128号~第139号)

第128号(1月15日発行) 第129号(2月15日発行) 第130号(3月15日発行)
第131号(4月15日発行) 第132号(5月15日発行) 第133号(6月15日発行)
第134号(7月15日発行) 第135号(8月15日発行) 第136号(9月15日発行)
第137号(10月15日発行) 第138号(11月15日発行) 第139号(12月15日発行)

★明治 45 (1912) 年 (~7月 29 日) (第 140 号~第 151 号)

第 140 号 (1月 15 日発行) 第 141 号 (2月 15 日発行) 第 142 号 (3月 15 日発行)
第 143 号 (4月 15 日発行) 第 144 号 (5月 15 日発行) 第 145 号 (6月 15 日発行)
第 146 号 (明治 45 年 7月 15 日発行)

★大正元 (1912) 年 (7月 30 日~) (第 147 号~第 151 号)

第 147 号 (大正元年 8月 15 日発行) 第 148 号 (9月 15 日発行) 第 149 号 (10月 15 日発行)
第 150 号 (11月 15 日発行) 第 151 号 (12月 15 日発行)

★大正 2 (1913) 年 (第 152 号~第 163 号) (▲第 156 号より「目次」形態変更、表紙に「目次」あり。)

第 152 号 (1月 15 日発行) 第 153 号 (2月 15 日発行) 第 154 号 (3月 15 日発行)
第 155 号 (4月 15 日発行) 第 156 号 (5月 15 日発行) 第 157 号 (6月 15 日発行)
第 158 号 (7月 15 日発行) 第 159 号 (8月 15 日発行) 第 160 号 (9月 15 日発行)
第 161 号 (10月 15 日発行) 第 162 号 (11月 15 日発行) 第 163 号 (12月 15 日発行)

★大正 3 (1914) 年 (第 164 号~第 175 号)

第 164 号 (1月 15 日発行) 第 165 号 (2月 15 日発行) 第 166 号 (3月 15 日発行)
第 167 号 (4月 15 日発行) 第 168 号 (5月 15 日発行) 第 169 号 (6月 15 日発行)
第 170 号 (7月 15 日発行) 第 171 号 (8月 15 日発行) 第 172 号 (9月 15 日発行)
第 173 号 (10月 15 日発行) 第 174 号 (11月 15 日発行) 第 175 号 (12月 15 日発行)

★大正 4 (1915) 年 (第 176 号~第 187 号)

第 176 号 (1月 15 日発行) 第 177 号 (2月 15 日発行) 第 178 号 (3月 15 日発行)
第 179 号 (4月 15 日発行) 第 180 号 (5月 15 日発行) 第 181 号 (6月 15 日発行)
第 182 号 (7月 15 日発行) 第 183 号 (8月 15 日発行) 第 184 号 (9月 15 日発行)
第 185 号 (10月 15 日発行) 第 186 号 (11月 15 日発行) 第 187 号 (12月 15 日発行)

★大正 5 (1916) 年 (第 188 号~第 199 号)

第 188 号 (1月 15 日発行) 第 189 号 (2月 15 日発行) 第 190 号 (3月 15 日発行)
第 191 号 (4月 15 日発行) 第 192 号 (5月 15 日発行) 第 193 号 (6月 15 日発行)
第 194 号 (7月 15 日発行) 第 195 号 (8月 15 日発行) 第 196 号 (9月 15 日発行)
第 197 号 (10月 15 日発行) 第 198 号 (11月 15 日発行) 第 199 号 (12月 15 日発行)

★大正 6 (1917) 年 (第 200 号~第 211 号)

第 200 号 (1月 15 日発行) 第 201 号 (2月 15 日発行) 第 202 号 (3月 15 日発行)
第 203 号 (4月 15 日発行) 第 204 号 (5月 15 日発行) 第 205 号 (6月 15 日発行)
第 206 号 (7月 15 日発行) 第 207 号 (8月 15 日発行) 第 208 号 (9月 15 日発行)
第 209 号 (10月 15 日発行) 第 210 号 (11月 15 日発行) 第 211 号 (12月 15 日発行)

★大正 7 (1918) 年 (第 212 号~第 223 号) (▲第 221 号より毎月 25 日発行に変更、~

第 328 号)

第 212 号 (1 月 15 日発行) 第 213 号 (2 月 15 日発行) 第 214 号 (3 月 15 日発行)
第 215 号 (4 月 15 日発行) 第 216 号 (5 月 15 日発行) 第 217 号 (6 月 15 日発行)
第 218 号 (7 月 15 日発行) 第 219 号 (8 月 15 日発行) 第 220 号 (9 月 15 日発行)
第 221 号 (10 月 25 日発行 (▲ただし、まだ「毎月 15 日発行」とある。))
第 222 号 (11 月 25 日 (▲「毎月 25 日発行」とある。) 発行) 第 223 号 (12 月 25 日
発行)

★大正 8 (1919) 年 (第 224 号～第 235 号)

第 224 号 (1 月 25 日発行) 第 225 号 (2 月 25 日発行) 第 226 号 (3 月 25 日発行)
第 227 号 (4 月 25 日発行) 第 228 号 (5 月 25 日発行) 第 229 号 (6 月 25 日発行)
第 230 号 (7 月 25 日発行) 第 231 号 (8 月 25 日発行) 第 232 号 (9 月 25 日発行)
第 233 号 (10 月 25 日発行) 第 234 号 (11 月 25 日発行) 第 235 号 (12 月 25 日発
行)

★大正 9 (1920) 年 (第 236 号～第 246 号) (▲9 月発行分なし。)

第 236 号 (1 月 25 日発行) 第 237 号 (2 月 25 日発行) 第 238 号 (3 月 25 日発行)
第 239 号 (4 月 25 日発行) 第 240 号 (5 月 25 日発行) 第 241 号 (6 月 25 日発行)
第 242 号 (7 月 25 日発行) 第 243 号 (8 月 25 日発行) 第 244 号 (10 月 25 日発行)
(▲9 月発行分なし。第 244 号巻末: 「都合により」9 月発行分を合本の由。) 第 245 号
(11 月 25 日発行) 第 246 号 (12 月 25 日発行)

★大正 10 (1921) 年 (第 247 号～第 258 号) (▲第 247 号より「目次」形態変更、表紙
と「目次」を分離。)

第 247 号 (1 月 25 日発行) 第 248 号 (2 月 25 日発行) 第 249 号 (3 月 25 日発行)
第 250 号 (4 月 25 日発行) 第 251 号 (5 月 25 日発行) 第 252 号 (6 月 25 日発行)
第 253 号 (7 月 25 日発行) 第 254 号 (8 月 25 日発行) 第 255 号 (9 月 25 日発行)
第 256 号 (10 月 25 日発行) 第 257 号 (11 月 25 日発行) 第 258 号 (12 月 25 日発
行)

(参考)

・第 247 号 (1 月 25 日発行) に、松井 茂 (1868～1945) 「本部の一角から」あり。『警
察協会雑誌』編集関係記事もあり。同号巻末に「本号より面目一新」との記事あり。

★大正 11 (1922) 年 (第 259 号～第 270 号)

第 259 号 (1 月 25 日発行) 第 260 号 (2 月 25 日発行) 第 261 号 (3 月 25 日発行)
第 262 号 (4 月 25 日発行) 第 263 号 (5 月 25 日発行) 第 264 号 (6 月 25 日発行)
第 265 号 (7 月 25 日発行) 第 266 号 (8 月 25 日発行) 第 267 号 (9 月 25 日発行)
第 268 号 (10 月 25 日発行) 第 269 号 (11 月 25 日発行) 第 270 号 (12 月 25 日発
行)

★大正 12 (1923) 年 (第 271 号～第 280 号) (第 279 号、第 280 号は両月合刊号)

第 271 号 (1 月 25 日発行) 第 272 号 (2 月 25 日発行) 第 273 号 (3 月 25 日発行)
第 274 号 (4 月 25 日発行) 第 275 号 (5 月 25 日発行) 第 276 号 (6 月 25 日発行)
第 277 号 (7 月 25 日発行) 第 278 号 (8 月 25 日発行) 第 279 号 (▲巻末謹告: 関

東大震災被災のため9・10両月合刊の由) (11月25日発行) 第280号 (▲11・12両月合刊) (12月25日発行)

★大正13(1924)年(第281号～第292号)(▲第284号より「目次」形態変更、雑誌の体裁、表紙の字体を変え、「目次」を表紙に出す。)

第281号(1月25日発行) 第282号(2月25日発行) 第283号(3月25日発行)
第284号(4月25日発行) 第285号(交通警察号、5月25日発行) 第286号(6月25日発行) 第287号(教養警察号、7月25日発行) 第288号(8月25日発行)
第289号(震災記念号、9月25日発行) 第290号(10月25日発行) 第291号(11月25日発行) 第292号(消防号、12月25日発行)

(参考)

・第281号(1月25日発行)巻末に「読者諸君に告ぐ」という「雑誌の内容並編輯方法、一般に対する批評希望其他の改造意見」の募集広告あり。当時の読者数5万人。第283号(3月25日発行)に野口明(1895～1979、神奈川県警視)「警察協会雑誌改善意見」、雑誌委員「本紙(マ)の改善に就て」あり。

★大正14(1925)年(第293号～第304号)

第293号(1月25日発行) 第294号(2月25日発行) 第295号(3月25日発行)
第296号(4月25日発行) 第297号(5月25日発行) 第298号(活動写真号、6月25日発行) 第299号(7月25日発行) 第300号(8月25日発行) 第301号(9月25日発行) 第302号(10月25日発行) 第303号(11月25日発行) 第304号(12月25日発行)

★大正15(1926)年(～12月24日)(第305号～第316号)

第305号(1月25日発行) 第306号(2月25日発行) 第307号(3月25日発行)
第308号(4月25日発行) 第309号(5月25日発行) 第310号(6月25日発行)
第311号(7月25日発行) 第312号(8月25日発行) 第313号(9月25日発行)
第314号(10月25日発行) 第315号(11月25日発行) 第316号(刑事警察号、12月18日〈例外〉発行)

★昭和元(1926)年(12月25日～12月31日)(発行なし。)

★昭和2(1927)年(第317号～第328号)

第317号(1月25日発行) 第318号(2月25日発行) 第319号(3月25日発行)
第320号(4月25日発行) 第321号(5月25日発行) 第322号(6月25日発行)
第323号(7月25日発行) 第324号(8月25日発行) 第325号(9月25日発行)
第326号(10月25日発行) 第327号(11月25日発行) 第328号(12月25日発行)

(参考)

・第322号(6月25日発行)に後藤狂夫(1868～1932、警察協会雑誌編輯者)「噫々新藤銀蔵君」あり(新藤銀蔵: 1859～1927、大正12年2月警視庁警視で退官、以後警察協会事務員)。

★昭和3(1928)年(第329号～第340号)(▲第329号より毎月1日に発行変更～)

(▲一部の号に発行日時の変更あり。)

第 329 号 (1 月 1 日発行) 第 330 号 (2 月 1 日発行) 第 331 号 (3 月 1 日発行) 第 332 号 (4 月 1 日発行) 第 333 号 (5 月 1 日発行) 第 334 号 (6 月 1 日発行) 第 335 号 (7 月 1 日発行) 第 336 号 (8 月 1 日発行) 第 337 号 (9 月 1 日発行) 第 338 号 (「御大礼と御警衛」、10 月 1 日発行) 第 339 号 (11 月 1 日発行) 第 340 号 (「御大典と警察」、12 月 10 日発行)

(参考)

・第 330 号 (2 月 1 日発行) に後藤狂夫 (1868～1932、警察協会雑誌編輯者) 「末輩から見た有松 (英義) 先生」あり (有松英義: 1863～1927。警察協会、警察協会雑誌の件に言及)。

★昭和 4 (1929) 年 (第 341 号～第 352 号) (▲第 352 号より「目次」形態変更、表紙と「目次」を分離)

第 341 号 (1 月 1 日発行) 第 342 号 (2 月 1 日発行) 第 343 号 (3 月 1 日発行) 第 344 号 (4 月 1 日発行) 第 345 号 (5 月 1 日発行) 第 346 号 (6 月 1 日発行) 第 347 号 (7 月 1 日発行) 第 348 号 (8 月 1 日発行) 第 349 号 (9 月 1 日発行) 第 350 号 (10 月 1 日発行) 第 351 号 (11 月 1 日発行) 第 352 号 (「全国警察官武道大会号」、12 月 1 日発行)

(参考 1)

・第 349 号 (9 月 1 日発行) に「後藤狂夫君見舞金贈呈の件」、「感謝・感泣・感激・感奮」(後藤狂夫) あり。

(参考 2)

・第 350 号 (10 月 1 日発行) に「警察協会雑誌改善に関する座談会」あり。

★昭和 5 (1930) 年 (第 353 号～第 364 号) (▲一部の号に発行日時の変更あり。)

第 353 号 (1 月 1 日発行) 第 354 号 (2 月 1 日発行) 第 355 号 (3 月 1 日発行) 第 356 号 (4 月 1 日発行) 第 357 号 (5 月 3 日発行) 第 358 号 (6 月 1 日発行) 第 359 号 (7 月 1 日発行) 第 360 号 (8 月 1 日発行) 第 361 号 (9 月 1 日発行) 第 362 号 (10 月 2 日発行) 第 363 号 (11 月 7 日発行) 第 364 号 (12 月 1 日発行)

(参考)

・第 364 号 (12 月 1 日発行) に石原雅二郎 (内務省社会局部長、大正 3 年内務省入省) 「時評・警察雑誌」(後に石原『警察心鑑』〈松華堂書店、昭和 7 年 5 月 10 日刊〉に再録。) あり。

★昭和 6 (1931) 年 (第 365 号～第 376 号) (▲一部の号に発行日時の変更あり。)

第 365 号 (1 月 1 日発行) 第 366 号 (2 月 3 日発行) 第 367 号 (3 月 2 日発行) 第 368 号 (4 月 1 日発行) 第 369 号 (5 月 1 日発行) 第 370 号 (6 月 1 日発行) 第 371 号 (7 月 1 日発行) 第 372 号 (8 月 1 日発行) 第 373 号 (9 月 1 日発行) 第 374 号 (10 月 1 日発行) 第 375 号 (11 月 12 日発行) 第 376 号 (12 月 4 日発行)

★昭和 7 (1932) 年 (第 377 号～第 388 号) (▲一部の号に発行日時の変更あり。)

第 377 号 (1 月 1 日発行) 第 378 号 (2 月 5 日発行) 第 379 号 (3 月 4 日発行) 第 380 号 (4 月 1 日発行) 第 381 号 (5 月 1 日発行) 第 382 号 (6 月 4 日発行) 第 383 号 (7 月 1 日発行) 第 384 号 (8 月 1 日発行) 第 385 号 (9 月 1 日発行) 第 386 号

(10月1日発行) 第387号 (11月1日発行) 第388号 (12月7日発行)

(参考)

・第381号(5月1日発行)に、「故警察協会雑誌編輯顧問後藤狂夫君追悼録」あり。松井茂(1868~1945)「噫、後藤狂夫君」(68、69頁)、芽城(鈴木千次〈1867~1941〉¹¹のペンネーム)「後藤狂夫君を悼む」(70~73頁)、佐藤進(?~1942、『警察協会雑誌』編輯者)「後藤先生の追憶」(73~76頁)。なお、口絵に遺影あり。

★昭和8(1933)年(第389号~第401号)(▲5月臨時増刊あり。一部の号に発行日時の変更あり。)(▲国立国会図書館所蔵本は年間2巻に製本、第395号の後の「/ (改行)」は、国立国会図書館所蔵本の製本巻数分を示す。)

第389号(1月1日発行) 第390号(2月1日発行) 第391号(3月6日発行) 第392号(4月1日発行) 第393号(5月7日発行) 第394号(5月臨時増刊『法学博士松井茂述 欧米の警察及消防の現況を述べて我国に及ぶ』)(5月30日発行)

第395号(6月8日発行) /

第396号(7月6日発行) 第397号(8月1日発行) 第398号(9月1日発行)

第399号(10月4日発行) 第400号(11月10日発行) 第401号(12月1日発行)

★昭和9(1934)年(第402号~第413号)(▲一部の号に発行日時の変更あり。)

第402号(1月1日発行) 第403号(2月3日発行) 第404号(3月3日発行) 第405号(4月4日発行) 第406号(5月3日発行) 第407号(6月10日発行) 第408号(7月6日発行) 第409号(8月1日発行) 第410号(9月1日発行) 第411号(10月5日発行) 第412号(11月1日発行) 第413号(「警察招魂祭・奉納武道大会特輯号」、12月20日発行)

★昭和10(1935)年(第414号~第427号)(▲5月臨時増刊、9月臨時増刊あり。一部の号に発行日時の変更あり。)(▲国立国会図書館所蔵本は年間2巻に製本、第420号の後の「/ (改行)」は、国立国会図書館所蔵本の製本巻数分を示す。)

第414号(1月10日発行) 第415号(2月1日発行) 第416号(3月1日発行)

第417号(4月1日発行) 第418号(5月12日発行) 第419号(5月臨時増刊『民衆警察の夕』)(5月18日発行) 第420号(6月14日) /

第421号(7月1日発行) 第422号(8月10日発行) 第423号(9月臨時増刊『選挙肅正』)(9月10日発行) 第424号(9月23日発行) 第425号(10月13日発行)

第426号(11月1日発行) 第427号(12月1日発行)

★昭和11(1936)年(第428号~第439号)(▲一部の号に発行日時の変更あり。)

(国立国会図書館所蔵本は年間2巻に製本、第433号の後の「/ (改行)」は、国立国会図書館所蔵本の製本巻数分を示す。)

第428号(1月10日発行) 第429号(2月1日発行) 第430号(3月1日発行)

第431号(4月1日発行) 第432号(5月11日発行) 第433号(6月10日発行)

¹¹ 鈴木千次については、本 HP 別稿「内務省警保局の主 芽城鈴木千次とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」(平成22(2010)年6月16日(水)初稿作成、逐次改訂中)参照。

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatvoshi/suzukisenji.pdf>

/第 434 号 (7 月 8 日発行) 第 435 号 (8 月 1 日発行) 第 436 号 (9 月 1 日発行) 第 437 号 (10 月 1 日発行) 第 438 号 (11 月 13 日発行) 第 439 号 (12 月 1 日発行)

★昭和 12 (1937) 年 (第 440 号～第 451 号) (▲一部の号に発行日時の変更あり。)

(▲国立国会図書館所蔵本は年間 2 巻に製本、第 445 号の後の「/〈改行〉」は、国立国会図書館所蔵本の製本巻数分を示す。)

第 440 号 (1 月 1 日発行) 第 441 号 (2 月 1 日発行) 第 442 号 (3 月 1 日発行) 第 443 号 (4 月 10 日発行) 第 444 号 (5 月 1 日発行) 第 445 号 (6 月 1 日発行) /
第 446 号 (7 月 7 日発行) 第 447 号 (8 月 1 日発行) 第 448 号 (9 月 1 日発行) 第 449 号 (10 月 7 日発行) 第 450 号 (11 月 10 日発行) 第 451 号 (12 月 1 日発行)

★昭和 13 (1938) 年 (第 452 号～第 463 号) (▲国立国会図書館所蔵本は年間 2 巻に製本、第 457 号の後の「/〈改行〉」は、国立国会図書館所蔵本の製本巻数分を示す。)

第 452 号 (1 月 1 日発行) 第 453 号 (2 月 1 日発行) 第 454 号 (3 月 1 日発行) 第 455 号 (4 月 1 日発行) 第 456 号 (5 月 1 日発行) 第 457 号 (6 月 1 日発行) /
第 458 号 (7 月 1 日発行) 第 459 号 (8 月 1 日発行) 第 460 号 (9 月 1 日発行) 第 461 号 (10 月 1 日発行) 第 462 号 (11 月 1 日発行) 第 463 号 (12 月 1 日発行)

(参考 1)

・第 460 号 (9 月 1 日発行) に「会告 本会主事の更迭」あり。

(参考 2)

・第 463 号 (12 月 1 日発行) に「松井〈茂〉博士の友情 (鈴木〈千次〉前主事を慰問せらる。)」あり。

★昭和 14 (1939) 年 (第 464 号～第 475 号) (▲国立国会図書館所蔵本は年間 2 巻に製本、第 469 号の後の「/〈改行〉」は、国立国会図書館所蔵本の製本巻数分を示す。)

第 464 号 (1 月 1 日発行) 第 465 号 (2 月 1 日発行) 第 466 号 (3 月 1 日発行) 第 467 号 (4 月 1 日発行) 第 468 号 (5 月 1 日発行) 第 469 号 (6 月 1 日発行) /
第 470 号 (7 月 1 日発行) 第 471 号 (8 月 1 日発行) 第 472 号 (9 月 1 日発行) 第 473 号 (10 月 1 日発行) 第 474 号 (11 月 1 日発行) 第 475 号 (12 月 1 日発行)

(参考)

・第 471 号 (8 月 1 日発行) に「前本会主事鈴木千次氏に対する顕労一内務省警保局歴代上司揮毫の記念帖を贈呈一」あり。

★昭和 15 (1940) 年 (第 476 号～第 487 号) (▲国立国会図書館所蔵本は本年以降年間 1 巻に製本)

第 476 号 (1 月 1 日発行) 第 477 号 (2 月 1 日発行) 第 478 号 (3 月 1 日発行) 第 479 号 (4 月 1 日発行) 第 480 号 (5 月 1 日発行) 第 481 号 (6 月 1 日発行) 第 482 号 (7 月 1 日発行) 第 483 号 (8 月 1 日発行) 第 484 号 (9 月 1 日発行) 第 485 号 (10 月 1 日発行) 第 486 号 (11 月 1 日発行) 第 487 号 (12 月 1 日発行)

★昭和 16 (1941) 年 (第 488 号～第 499 号)

第 488 号 (1 月 1 日発行) 第 489 号 (2 月 1 日発行) 第 490 号 (3 月 1 日発行) 第 491 号 (4 月 1 日発行) 第 492 号 (5 月 1 日発行) 第 493 号 (6 月 1 日発行) 第 494 号 (7 月 1 日発行) 第 495 号 (8 月 1 日発行) 第 496 号 (9 月 1 日発行) 第 497 号

(10月1日発行) 第498号(11月1日発行) 第499号(12月1日発行)

(参考)

・第491号(4月1日発行)に「前警察協会主事故鈴木千次君追悼録」あり(松井茂(1866~1945)、長岡隆一郎(1884~1963)、高橋雄豺(1889~1979)、種村一男(1902~1982)、佐藤進(?~1941)。鈴木千次: 慶応3(1867)年10月26日~昭和16(1941)年2月5日、明治26(1893)年以来内務省警保局勤務、大正12(1923)年警察講習所教授で退官、以降昭和13(1938)年夏迄同局嘱託及警察協会主事)。

★昭和17(1942)年(第500号~第511号)

第500号(1月1日発行) 第501号(2月1日発行) 第502号(3月1日発行) 第503号(4月1日発行) 第504号(5月1日発行) 第505号(6月1日発行) 第506号(7月1日発行) 第507号(8月1日発行) 第508号(9月1日発行) 第509号(10月1日発行) 第510号(11月1日発行) 第511号(12月1日発行)

(参考1)

・第500号(1月1日発行)に高橋雄豺(1889~1979)「大正末期の協会雑誌」、渡井千年「警察協会雑誌の回顧」、第503号(4月1日発行)に水野錬太郎(1868~1949)「警察協会雑誌発刊当時を顧みて」、第504号(5月1日発行)に芙蓉麓人(渡井千年のこと)「警察雑誌瞥見」(24~26頁)あり。

(参考2)

・第500号(1月1日発行)に「佐藤進君(註: 同誌編輯主任)を悼む」、芙蓉麓人(渡井千年)「挽歌」、第501号(2月1日発行)に山川秀好「消防教育と故佐藤主事」、第503号(4月1日発行)に横山八五郎(満洲国警察協会本部、『警友』編集者)「佐藤氏の逝去を悼む」(康德九・三・一三於「警友」編集室)あり。

(平成20年2月9日(参考1)、(参考2)修正、追加)

(参考3)

・第501号(2月1日発行)に「(談話室) 大阪府でがわ生 本誌の復興は(ママ、に)就て」(22~23頁)、第502号(3月1日発行)に「月報 本会編輯主任きまる」(54頁、大阪府警部補(警察部警務課)中島茂三⇒命警察協会雑誌編輯主任)、同号「編輯後記」(渡井生(千年)による本件の紹介記事(昭和17年3月1日))、第503号(4月1日発行)に中島茂三「どうぞよろしく」(26頁。肖像画入。筆名「芙蓉麓人」を「渡井千年」のこととして紹介。)あり。第503号より「編輯後記」は中島茂三名義(昭和17年4月1日)。

(平成26年6月27日(参考3)追加)

(参考4)

・上記「芙蓉麓人」こと「渡井千年」については、今後検討の要あり。取り敢えずは、渡井千年『歌集 葡萄の一房』(双葉書房、昭和13年3月15日刊)、『警務篇研究』(警察時報社、昭和23年4月10日刊)等参照。前著序によれば、渡井は当時白根松介(1886~1983)の「家人」であり、昭和13年時点で30歳との由である。白根松介:
<<http://ya-na-ka.sakura.ne.jp/shiraneMatsusuke.htm>>

(平成26年9月6日(参考4)追加)

★昭和18(1943)年(第512号~第521号)

第 512 号 (1 月 1 日発行) 第 513 号 (2 月 1 日発行) 第 514 号 (3 月 1 日発行) 第 515 号 (4 月 1 日発行) 第 516 号 (5 月 1 日発行) 第 517 号 (6 月 1 日発行) 第 518 号 (7 月 1 日発行) 第 519 号 (8 月 1 日発行) (▲用紙事情悪化のため 9、10 月号休刊) 第 520 号 (11 月・12 月合併号、10〈ママ〉月 1 日発行) (▲事情説明の「歳末詫言〈12 月 15 日の日付〉、編集後記」あり。) 第 521 号 (▲未見、??月??日発行。詳細不明であるが、戦後発行の第 522 号所掲「復刊のことば」及び同「警察協会雑誌のありかた」によれば、昭和 18 年末に刊行の可能性が強い。現時点での所蔵先未確認。⇒〈平成 26 年 9 月 6 日追加〉廣瀬権「警察協会雑誌の謎」解明に向けた一歩『警察学論集』第 67 巻第 8 号 (平成 26 年 8 月 10 日刊) 97~114 頁参照。)

(参考) 以下、用紙事情悪化等により休刊か。この頃で 10 万 6 千部程度発行か。

★昭和 19 (1944) 年 (以下休刊状態)

(参考) 第 522 号所掲「復刊のことば」・「警察協会雑誌のありかた」、あるいは大霞会『内務省史』第 2 巻 (財地方財務協会、昭和 45 年 11 月 1 日刊。原書房復刻: 昭和 55 年 7 月刊) 669 頁によれば、昭和 19 (1944) 年 1 月~同 21 (1946) 年 4 月中断の由。

★昭和 20 (1945) 年 (休刊状態)

(参考) 戦後復刊: 第 522 号~第 529 号刊行。前掲『内務省史』第 2 巻 669 頁によれば、第 529 号が最終号の由。

★昭和 21 (1946) 年 (第 522 号~第 524 号) (▲第 522 号より、「目次」形態変更、表紙に「目次」あり。)

第 522 号 (6 月 1 日発行、4・5・6 月合併号、「復刊のことば」あり。) 第 523 号 (8 月 1 日発行、7・8 月合併号) (▲『東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫所蔵雑誌目次総覧』第 125 巻、第 126 巻 (各警察編) (大空社、平成 9 (1997) 年 5 月 26 日刊) に、東大法・附属近代日本法政史料センター所蔵本の各号目次写真復刻あり。これには、第 522 号表紙中の「目次」欄に「第 522・523 合併号」とあるが、実見したところ、実物は 522 号単独号で、上記目録作成時に何故か誤って「第 522・523 合併号」と書き入れられしものとの由。) 第 524 号 (10 月 30 日発行、9・10 月合併号)

★昭和 22 (1947) 年 (第 525 号~第 528 号) (▲東大法・附属近代日本法政史料センター所蔵本では、第 525 号、第 528 号は、版が小さくなり、小型版であることが確認できる。第 526 号、第 527 号、第 529 号は現在プラング文庫本しか存在せず、形態は未確認であるが、上記第 525 号、第 528 号と同じか。)

第 525 号 (6 月 30 日発行、6 月号、「警察協会雑誌暫定版の発行にあたって」あり。) 第 526 号 (7 月 1 日発行、7 月号) 第 527 号 (8 月 1 日発行、8 月号) 第 528 号 (12 月 28 日発行、9・10・11 月号)

★昭和 23 (1948) 年 (第 529 号、終刊) (▲第 529 号は「目次」形態変更、表紙と「目次」を分離。)

第 529 号 (6 月 30 日発行、6 月号、終刊。)

【補遺 1】 国立国会図書館未所蔵第 521～第 529 号原本の補充状況

(プランゲ文庫 <<http://rnavi.ndl.go.jp/kensei/entry/senryo-prange.php>> に第 522 号～第 529 号あり。なお、国立国会図書館、東京大学大学院法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター、プランゲ文庫以外の所蔵箇所については、CiNii 等で検索できる <<http://ci.nii.ac.jp/books/>>。)

- ・ 第 521 号 ⇒未発見、戦前(?) 発行のためかプランゲ文庫でも所蔵なし。
⇒下記「【補遺 2】『警察協会雑誌』第 521 号は幻か—同号探索覚書—」参照。
- ・ 第 522 号 ⇒東京大学大学院法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター所蔵本は不備 ⇒岡山県立図書館、プランゲ文庫で所蔵。
- ・ 第 523 号 ⇒岡山県立図書館、プランゲ文庫で所蔵。
- ・ 第 524 号 東京大学大学院法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター、プランゲ文庫で所蔵。
- ・ 第 525 号 東京大学大学院法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター、プランゲ文庫で所蔵。
- ・ 第 526 号 ⇒プランゲ文庫にのみあり。他館所蔵なし。
- ・ 第 527 号 ⇒プランゲ文庫にのみあり。他館所蔵なし。
- ・ 第 528 号 東京大学大学院法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター、プランゲ文庫で所蔵。
- ・ 第 529 号 ⇒プランゲ文庫にのみあり。他館所蔵なし。

【補遺 2】『警察協会雑誌』第 521 号は幻か—同号探索覚書—

(追記) 本件については、平成 26 (2014) 年夏に廣瀬権「『警察協会雑誌の謎』解明に向けた一歩」『警察学論集』第 67 巻第 8 号 (平成 26 年 8 月 10 日刊) 97～114 頁が公表されたことから解明された。詳しくは同稿参照。(平成 26 年 9 月 6 日追加)

『警察協会雑誌』目次は、『東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫所蔵雑誌目次総覧』第 125 巻、第 126 巻 (各警察編) (大空社、平成 9 (1997) 年 5 月 26 日刊) 及び別途調査のもので、第 521 号を除き判明したが、ただこの第 521 号だけは、まったく情報がない。ちなみに、戦後の復刊第 1 号は第 522 号 (昭和 21 年 6 月 1 日発行) で、『内務省史』第 2 巻 (大霞会、昭和 45 年 11 月 1 日刊。原書房復刻: 昭和 55 年 7 月刊) 669 頁によれば、第 529 号が最終号の由である。

上記第 522 号は、「警察協会雑誌のありかた」(30～31 頁) を掲載し、「雑誌の出なくなつたのは昭和 19 年 1 月、今日まで 2 年 4 ヶ月になる。」(30 頁) と述べているが、この記述が、如何なる意味なのか、今ひとつはっきりしない。これでは、戦前最後のものが出たのが、昭和 18 年 12 月か、あるいは昭和 19 年 1 月なのか、このあたりも確定できない。

ちなみに、昭和 18 年頃には用紙の入手が難しくなり、同年 9 月号、10 月号は休刊せざるを得ず、11 月号、12 月号も当初出せないのではと思われていたが、同年暮に第 520 号

(昭和 18 年^{ママ}10 月 1 日発行) が急遽刊行されたようである。これは、同号末尾「歳末詫言」(40 頁) の「12 月の半に至つて漸く本号を出し得る量の用紙が入手出来」、第 520 号が 11 月・12 月合併号として出されたといっていることに基づく。問題は、上記「歳末詫言」は「昭和 18 年 12 月 15 日麓人生」の執筆に係るが、印刷日、発行日は、「昭和 18 年 9 月 30 日印刷、昭和 18 年 10 月 1 日発行」とあって、上記第 522 号のいう「雑誌の出なくなつたのは昭和 19 年 1 月」の意味が、ここでも不明瞭なことである。

これらからすると、昭和 18 年 12 月某日付か、あるいは、昭和 19 年 1 月某日付で、第 521 号が出されている可能性がある。しかるに、第 520 号は現在かなりの図書館に所蔵されているものの、この第 521 号だけは、いろいろ試みてみたが、未だ発見できていない。あるいは、戦後復刊第 1 号の第 522 号を出した時に、「第 521 号」とすべきを、戦後の混乱から、「誤って第 522 号」としたのではとの説を唱える人もあるが、案外そうなのかもしれない。

以下、これらを少しく検討する。第 515 号位から第 523 号、第 524 号あたりを第 521 号を除き欠号なく揃えて所蔵しているのは、市政専門図書館¹²と岡山県立図書館¹³の 2 館のみと思われる。このうち、岡山県立図書館所蔵本は戦後個人の寄贈のようであって、入手経緯の詳細を確認できないのでしておく。他方、市政専門図書館所蔵本を見るに、第 520 号までは当時の日付の入った東京市政調査会購入印が、第 522～第 524 号には同じく東京市政調査会受贈印が押されているので、いずれも発行とほぼ同時に同調査会が入手したことがわかる。しかるに、第 521 号のみが欠号になっているのは、いささか不思議な感じもし、「第 522 号」は本来は「第 521 号」ではないかとも思いたくなる。

しかし、それならば、普通は、第 523 号とか第 524 号の刊行くらいの段階で訂正があるはずなので、やはり第 521 号は出たものと思わざるを得ない。敢えて「幻の第 521 号」と呼んでおく。なお、第 521 号については、その所蔵を確認すべき場所が更に後 1 ヶ所残っているが、これは残念ながら未だに出来ていない。

本件第 521 号のことは、本誌全号調査で残った未解明の問題であり、大方の御示教を切にお願いいたす所存である。加えて、この他、第 526 号、第 527 号、第 529 号も、現在はプランゲ文庫本でしか把握できておらず、現物を実見していないので、是非ともこれら 3 冊の所在についての御教示をも併せお願いできれば幸甚である。

¹² 市政専門図書館: (<https://www.timr.or.jp/library/>) (平成 26 年 6 月 11 日追加)

¹³ 岡山県立図書館: (<http://www.libnet.pref.okayama.jp/>) (平成 26 年 6 月 11 日追加)

【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）（令和 4（2022）年 8 月 14 日追加）

- ・「法制史学者著作目録選」中「明治警察史コーナー」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉
- ・「松井茂久『警官陶冶篇』研究史抄一本 HP 収載「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』検討資料」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui002.pdf>〉
- ・「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』（増訂三版、明治 25（1892）年 2 月 18 日刊）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui001.pdf>〉
- ・「大森鍾一『直興遺篋抄』—「長男仕官に就き与へたる訓戒の書」—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/omori001.pdf>〉
- ・「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑（碑文全文、付句読点文、書下し文）—故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表編修副長官従五位重野安繹撰— 明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>〉
- ・「佐和正関係文献抄—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawatadashi.pdf>〉
- ・「坂元純熙、國分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問いかけを追って—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakamoto001.pdf>〉
- ・「国分友諒顕彰碑について—原田弘先生のお教えに接して—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kokubukenshoji.pdf>〉
- ・「篠崎五郎関係資料抄—台湾出兵時の徴集隊指揮副長の一人— 明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shinozaki.pdf>〉
- ・「後藤松吉郎とは誰ぞ—明治警察史・日本統治下台湾警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/goto001.pdf>〉
- ・「裁判医学校乃至警視医学校関係文献一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/saiban001.pdf>〉
- ・「『無冤録述』検討一斑—江戸期及び明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsu.pdf>〉
- ・「続・『無冤録述』の初歩的検討—江戸期及び明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsuzoku.pdf>〉
- ・「ヘーン大尉関係文献抄（再訂稿）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hoen001.pdf>〉
- ・「明治中葉警官練習所訳官久松定弘等及び筆記者井土経重（霊山）検討一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yakkan.pdf>〉
- ・「岩瀬忠震関係文献抄（六訂稿）—向島・ヘーン大尉表功碑探訪余聞—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/iwase001.pdf>〉

- ・「内務省警視局御用御書物師須原鉄二とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/subara.pdf>>
- ・「清水書店とは何ぞや—須原鉄二との関連で—明治・大正警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shimizushoten.pdf>>
- ・「須原鉄二と清水書店創業者葉多野太兵衛について—明治・大正期出版業史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hatano001.pdf>>
- ・「警察監獄学会及び『警察監獄学会雑誌』 検討一斑—明治警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugakkai.pdf>>
- ・「警眼社社主田山宗堯とは誰ぞ—『警察協会雑誌』との関連をめぐって— 明治警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tayama.pdf>>
- ・「松華堂乃至松華堂書店とは何ぞや—明治警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shokado.pdf>>
- ・「高橋雄豺博士著作目録（再訂稿）」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>>
- ・「田村豊氏著作目録」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf>>
- ・「有光金兵衛とは誰ぞ—「田村豊氏著作目録」補遺—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/arimitsu.pdf>>
- ・「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄（参考）渡辺忠威氏警察史関係文献抄」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>>
- ・「小林光政氏とは誰ぞ—大正・昭和戦前期警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayashimitsumasa.pdf>>
- ・「内務省警保局の主 芽城鈴木千次とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」（本稿）
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/suzukisenji.pdf>>
- ・「種村一男氏関係資料抄—昭和戦前期警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanemura.pdf>>
- ・「『警察協会雑誌』発行表」（本稿）
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keikyozasshi.pdf>>
- ・「頑鉄後藤狂夫とは誰ぞ—『警察協会雑誌』検討の一として—」（本稿）
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/gantetsu.pdf>>
- ・「植木鬼仏とは誰ぞ—警察川柳史検討— 昭和戦前期警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueki001.pdf>>
- ・「北京等駐在內務事務官検討一斑—昭和十年代警察講習所学友会北京支部資料等— 昭和戦前期警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/beijin001.pdf>>
- ・「警察雑誌検討一斑—戦前期警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/beijin001.pdf>>

- ・『大霞』発行表
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/taika.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/taika.pdf)
- ・『自警』発行表（戦前期）
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/jikei001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/jikei001.pdf)
- ・『警察春秋』とは何ぞ（改訂稿）—大正・昭和戦前期警察史の一齣—
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keisatsushunjuu.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keisatsushunjuu.pdf)
- ・『警務彙報』（財朝鮮警察協会刊）発行表
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keimuihou.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keimuihou.pdf)
- ・『法制時報』とは何ぞ（五訂稿）—法制時報社、南郊社社長小池則之とは誰ぞ—（本稿）
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/houseijihou.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/houseijihou.pdf)
- ・「楠木繁夫歌「女の階級」及び上原敏関係資料抄—昭和歌謡史の一齣—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kusunoki.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kusunoki.pdf)

【関連事項】（令和4年8月14日追加）

- ・法制史学会：[〈https://www.jalha.org/〉](https://www.jalha.org/)
- ・国立国会図書館：[〈https://www.ndl.go.jp/〉](https://www.ndl.go.jp/)
- ・国立国会図書館デジタルコレクション [〈https://dl.ndl.go.jp/〉](https://dl.ndl.go.jp/)
- ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和4（2022）年5月19日開始）
[〈https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html〉](https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html)
- ・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー（令和4（2022）年4月1日追加）
[〈https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/〉](https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/)
- ・CiNii：[〈https://ci.nii.ac.jp/〉](https://ci.nii.ac.jp/) ⇒ [〈https://cir.nii.ac.jp/〉](https://cir.nii.ac.jp/)（【[2022] 4/18 更新】CiNii ArticlesのCiNii Researchへの統合について）、[〈https://ci.nii.ac.jp/books/〉](https://ci.nii.ac.jp/books/)

（了）